

エコアクション21

環境経営レポート

(令和6年度)

令和 6年3月～令和 7年2月



株式会社 岡部組

2025年 5月 31日

目 次

1) 組織の概要	・・・ 1
2) 対象範囲(認証・登録範囲)レポートの対象期間及び発行日	・・・ 2
3) 環境経営方針	・・・ 3
4) 環境経営目標	・・・ 4
5) 環境経営計画	・・・ 5
6) 環境経営計画に基づき実施した取組内容	・・・ 6
7) 実施体制	・・・ 7
8) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組	・・・ 8
9) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	・・・ 9
10) 代表者による全体評価と見直し・指示	・・・10

1. 組織の概要

事業所名 : 株式会社 岡部組
 代表者名 : 代表取締役 深田好光
 所在地 : 北九州市八幡東区西本町一丁目7番7号 メールアドレス kk-okabe@dream.ocn.ne.jp
 資材置場 : (土木関係) 北九州市八幡西区下上津役四丁目9-101
 (水道関係) 北九州市八幡東区祝町一丁目22-15

技術者数
 環境管理責任者 : 深田 幹子 1級土木施工管理技士 9名 下水道管路更生管理技士 8名
 連絡担当者名 : 深田 幹子 監理技術者 9名 (SPR・オメガライナー工法)
 連絡先 : TEL 093-671-1485 2級土木施工管理技士 4名 JR工事管理者 4名
 FAX 093-681-5383 1級管工事施工管理技士 1名 推進工事技士 3名
 2級管工事施工管理技士 5名 コンクリート技士 1名
 1級建設業経理事務士 1名

事業内容 : 福岡県知事許可(特-23)第5854号
 ・土木工事 ・管工事 ・水道施設工事 ・推進工事
 ・SPR工法 オメガライナー工法工事(管内テレビカメラ調査一式)
 ・産業廃棄物収集運搬業(自社分のみ)

許可番号 第04000074944号 (福岡県)
 許可品目 汚泥 廃プラスチック類 紙くず 木くず
 繊維くず 金属くず ガラスくず がれき類
 許可年月日 令和3年10月6日 有効期限 令和8年10月5日

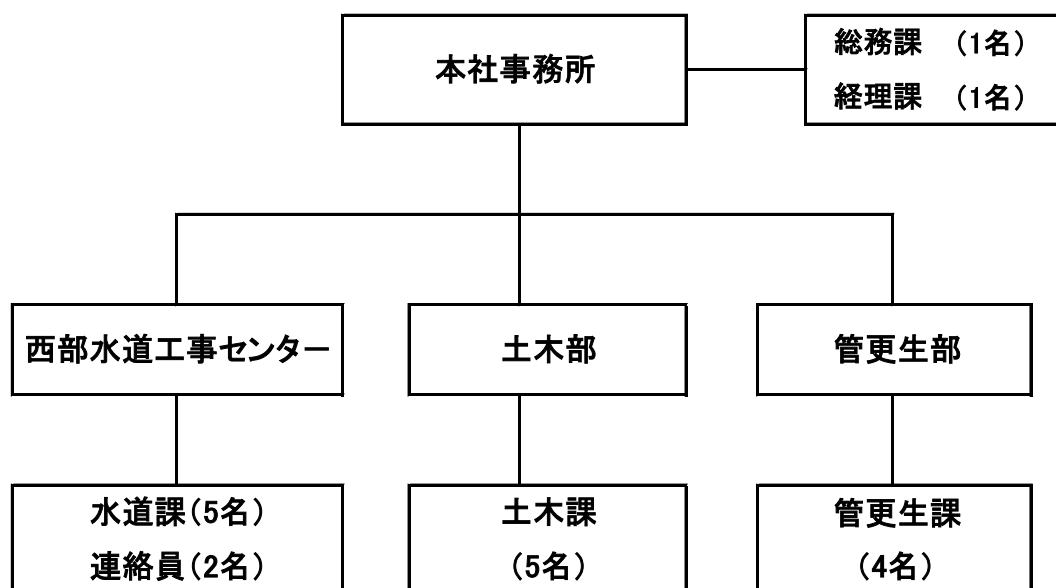
認証・登録範囲 : 全活動 土木工事業 水道施設工事業 管工事業
 全組織 本社 資材置場

会社沿革 : 昭和25年 4月 岡部組 設立 代表者 岡部 三好
 昭和29年 1月 岡部組 継承 代表者 深田 一郎
 昭和50年 6月 株式会社 岡部組に組織変更
 代表取締役 深田 一郎
 資本金 1,000万円
 昭和63年12月 資本金 1,500万円に増資
 平成 8年 5月 資本金 2,000万円に増資
 平成 8年 11月 代表取締役 深田 好光に変更

事業規模 :

活動規模	単位	2024年	2023年	2022年
		2024.3~2025.2	2023.3~2024.2	2022.3~2023.2
売上高	百万円	391	434	502
従業員	人	18	17	17
床面積	m ²	45.43	45.43	45.43
資材置場 下上津役	m ²	400	400	400
倉庫床面積 下上津役	m ²	321	321	321
資材置場 祝町	m ²	299.81	299.81	299.81

2. 対象範囲(認証・登録範囲)



本社事業所	北九州市八幡東区西本町一丁目7-7
資材置場	北九州市八幡西区下上津役四丁目9-101
資材置場	北九州市八幡東区祝町一丁目560-8

認証・登録範囲 : 全組織及び全事業活動

エコアクション21認証・登録

認証・登録番号 : 0006552
初回登録日 : 2011年 1月31日
更新登録日 : 2025年 1月31日
有効期限 : 2027年 1月30日

3. 環境経営方針

基本理念

株式会社岡部組は、地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、継続可能な循環型社会の構築に貢献します。
建設現場で積み上げてきた施工技術のスキルアップをめざし、若手に教育・指導していきます。

行動指針

当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境負荷の低減に取組み、環境汚染の予防を推進していきます。

以下の行動指針で環境経営目標及び環境経営計画に基づき、定期的に見直し課題を模索しながら継続性のある環境負荷低減の活動を行っていきます。

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
- 2) 廃棄物の削減・分別の徹底・リサイクル推進
- 3) 水使用量の削減
- 4) 環境負荷の少ない原材料の使用
- 5) 当社に関連する環境関連法規や条例等を遵守
- 6) 地域貢献と環境保全
- 7) 環境に配慮した工事施工、無事故、苦情ゼロをめざす
- 8) 環境経営方針は、従業員全員及び協力会社等に周知し、広く一般に公開します。

制定日	2010年	4月	1日
更新日	2024年	4月	10日

株式会社 岡部組
代表取締役 深田 好光

4. 環境経営目標

(%…基準年度からの増減)

環境目標	単位	R 5年度目標 (基準年度)	R 6年度目標 (対象年度) ↓ 1%	R 7年度目標 (目標) ↓ 2%	R 8年度目標 (目標) ↓ 3%
CO2排出量	kg-CO2	41,486	41,071	40,656	40,241
電気使用量	kWh	21,188	20,976	20,764	20,552
ガソリン使用量	L	5,506	5,451	5,396	5,341
軽油使用量	L	6,765	6,697	6,570	6,562
灯油使用量	L	654	589	523	471
一般廃棄物排出量	t	0.88	0.88	0.87	0.87
産業廃棄物排出量	t	865	856	847	839
水道使用量	m ³	464	459	455	450
環境に配慮した工事施工の実施	建設騒音・振動の発生を防止するとともに、地域住民からの苦情・事故の発生を「ゼロ」にする。				
地域貢献活動	地域の景観を保存するために、清掃活動やボランティア活動に積極的に参加する。				

1) 2023年度電気事業者別二酸化炭素排出係数 : 0.406(kg-CO2/kWh)

九州電力 調整後排出係数を採用

2) 2022年度から灯油使用量が40%ほど減少しているのので30%削減した目標値に変更する

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量

	活動項目	責任者	活動計画			
			3～5月	6～8月	9月～11月	12～2月
電気使用量削減	冷暖房適正温度の厳守(冷房25℃ 暖房20℃) 空調機フィルター清掃・室外機点検	深田	冷房使用期 6～9月 暖房使用期 11～3月 フィルター清掃 フィルター清掃			
	サーキュレーターで空気の循環 室内温度の調整	現場代理人	実 行			
	使用後のコピー機・プリンターは常に電源OFF					
	昼休み・作業時・残業時の不要な照明の消灯					
	帰宅時にはパソコンの電源OFF		事務所・現場の施錠する前に最終点検・実行			
ガソリン・軽油使用量削減	エコドライブ・アイドリングストップの励行	山口				
	タイヤ空気圧定期点検・定期的エンジンオイル 交換のチェック 重機未使用時エンジン停止	於田	実 行			
	週1回のノーマイカーデーの実施	現場代理人				
	ハイブリット車の導入	深田				
灯油使用量削減	冬場のストーブは室内温度20℃厳守	深田	暖房使用期間12～2月で実行			
	ボイラー重機の使用はこまめに電源OFF	現場代理人	実 行			

2. 一般廃棄物・産業廃棄物排出量

紙使用量の削減	無駄紙・ミスプリントの減少 ペーパーレスの実行	深田	実 行			
資源の節約	裏紙利用の徹底 封筒の再利用					
廃棄物削減	コンクリート塊・アスファルトがら等分別・リサイクルの徹底	現場代理人				
リサイクル率向上	再生利用及び再資源化の向上					

3. 水使用量

水使用量削減	節水活動の徹底	深田 現場代理人	実 行			
--------	---------	-------------	-----	--	--	--

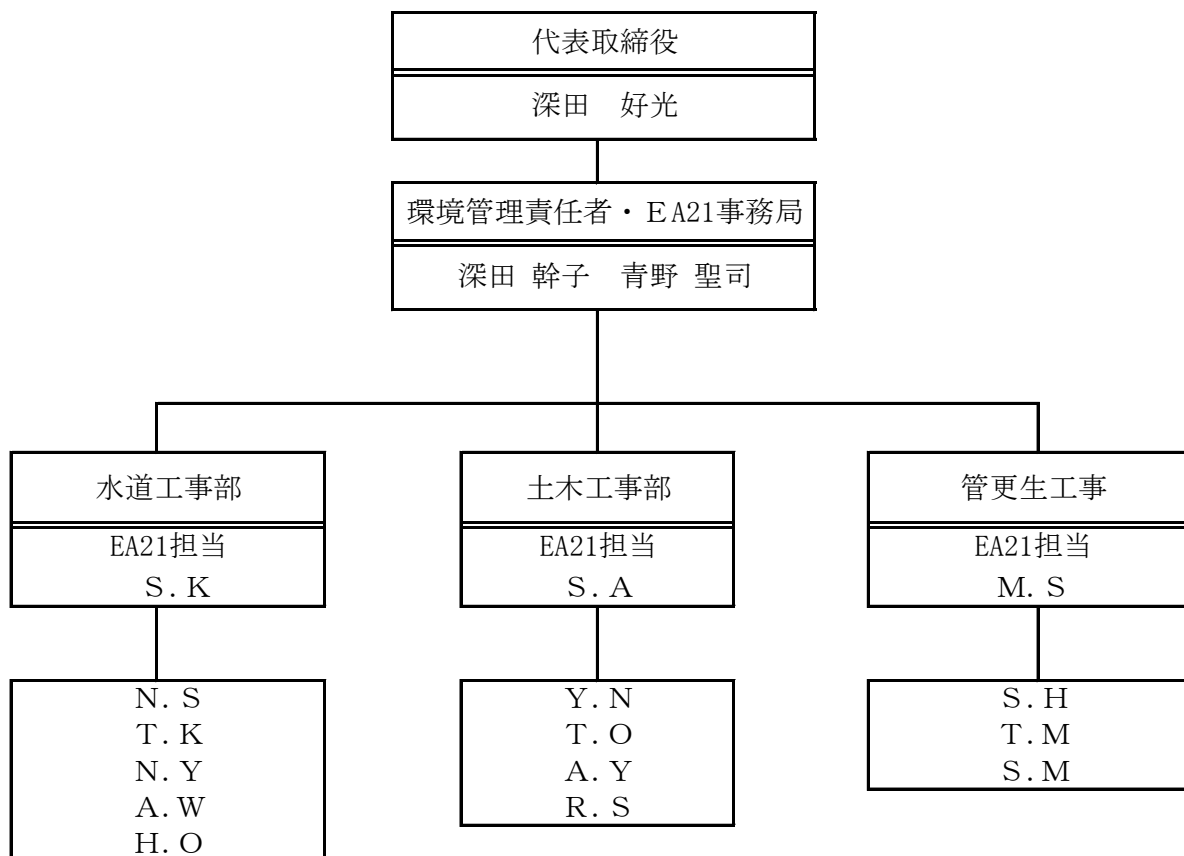
4. 環境に配慮した工事施工・効率化・地域貢献活動

工事施工の効率化向上 (無事故・無災害)	作業時間の短縮化の推進	深田 現場代理人	各現場で随時実行			
	KY活動・安全パトロールの実施					
騒音・振動の発生防止	低騒音型建設機械使用の徹底					
苦情ゼロの維持	作業工程の工夫など影響の最小限化					
地域との協調と景観保存	整理整頓・住民との環境コミュニケーションの推進					
エコキャップの回収	事務所・現場での収集					
清掃活動	全員参加の実施					

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容及び次年度の取組

- (1) 1.二酸化炭素排出量の削減
- 1)電気使用量の削減
- ・冷暖房の適正温度(冷房26℃ 暖房20℃)の設定を変更する。
 - ・空調機のフィルターを年2回定期的に清掃する。
 - ・空調機以外でサーキュレーターを使用して室温調整をする。
 - ・昼休み・作業時・残業時の不要な照明は消灯する。
 - ・帰宅時には再度点検し、電源OFFにする。
 - ・各現場事務所の照明のLED化を推進する。
- 2)燃料使用量の削減
- ・エコドライブ・アイドリングストップを実行する。
 - ・リーストラック利用の見直しをして、ガソリン使用量の削減に取り組む。
 - ・作業内容に適した車輛・重機の使用と空気圧点検・車輛整備を行う。
- 2.一般廃棄物・廃棄物排出量の削減
- ・廃棄物の分別を徹底し、主にコンクリート塊・アスファルトがら等の再資源化の向上を推進する。
 - ・再生紙利用商品の使用と裏紙の利用を徹底する。
 - ・プリンタートナー、カートリッジの回収を徹底する。
- 3.水使用量の削減
- ・工事用の散水等の節水に努める。
 - ・こまめに蛇口をしっかり閉める
- 4.環境に配慮した工事施工・効率化・地域貢献活動
- ・作業工程の計画をしっかり立て、作業時間の短縮を目指す。
 - ・KY活動・安全パトロールを実行し事故・災害を防ぐ。
 - ・建設騒音・振動の発生を極力防止する。
 - ・地域の景観保存とともに工事に対する苦情なしにする。
 - ・本社・現場事務所のボトルキャップを回収する。
(途上国ワクチン接種協力のため)
 - ・現場周辺の地域清掃を行う。
- (2) 次年度の取組
- ・令和6年度の環境経営計画を継続する。

7. 実施体制



担当者氏名	活動内容詳細
【代表取締役】 深田 好光	<ul style="list-style-type: none"> 全体統括・環境経営方針の制定 環境への取組を実施する資源の提供、全体の評価と見直し
【環境管理責任者】 【EA21事務局】 深田 幹子 青野 聖司	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、維持の責任と権限 環境経営レポートの作成及び管理 EA21定例会議の開催 3ヶ月（1期毎）1回開催し、目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況と結果の審議 欠席者への達成状況と結果報告と議事録の配布 朝礼・安全活動会議での環境活動継続の周知確認
【EA21事務局】 深田 幹子	<ul style="list-style-type: none"> 社員に対する環境意識の向上教育 環境関連法規等の遵守と管理報告 EA21文書及び記録の管理と保管
【各工事事務所責任者】 S. A R. S S. H H. O	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営の教育 実施の確認及び報告 各車両・重機の点検と整備 緊急事態・防火対応 各現場の巡回と指導

8. 環境経営目標の実績

項目	単位	基準年度	目標値(対象期間)	実績値(対象期間)	判定
		R 5年度	R 6年度	R 6年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	41,486	41,071	40,489	○
電気使用量	kWh	21,188	20,976	19,506	○
ガソリン使用量	L	5,506	5,451	7,254	×
軽油使用量	L	6,765	6,697	5,464	○
灯油使用量	L	654	589	660	×
一般廃棄物排出量	t	0.88	0.88	0.83	○
産業廃棄物排出量	t	865	856	995	×
水使用量	m3	464	456	476	△
環境に配慮した工事施工の実施	—	現場での騒音・振動発生防止に努力し、地域住民からの苦情もなく事故発生もゼロであった。			
地域貢献活動		地域景観を守り保存するため、清掃活動やボランティア活動等積極的に参加した。			

主要な環境経営活動の取組結果の評価

※ 2023年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数 :0.406
(kg-CO2/kWh) 九州電力 調整後排出係数を採用

1) 二酸化炭素排出量の削減

1. 電気使用量の削減

- ・前年度から引き続き、各現場代理人に消費電力のチェックを行なっていたので、目標値よりは消費電力を削減することができた。
- ・本社、現場事務所ともにサーキュレーターで空気循環し温度調節することで少しでも電気使用量の削減に役立てていきたい。

2. 燃料使用量の削減

- ・3期～4期にかけて工事現場での、リーストラック・重機の増車に伴いガソリン使用量が増加した。軽油使用量は、重機等を効率よく使用したことで削減できた。
- 灯油使用量が、管渠更生工事のボイラー使用量が多かったので増加した。
- 協力会社の車両・重機使用にもエコドライブ推進の指導していく。

2) 一般廃棄物排出量・廃棄物排出量の削減

- ・各部署での裏紙使用を推進した。社内間のコピーはほぼ裏紙使用でまかなっている。
- ・2024年5月～11月にアスファルト・コクリト塊、コクリトがら等の排出量が増加したが、再資源化にもつながった。
- 排出した大きな塊は、継続して細かく砕き数回に分けて廃棄した。
- 朝礼やEA21委員会議で廃棄物分別の工夫・徹底を強化し、今後も検討していく。

3) 水使用量の削減

- ・今年度も猛暑だったことで作業中の散水量も増加した。
- 散水時等に水の出しっぱなしをしないように節水を各自心がけること。

4) 環境に配慮した工事施工の効率化・無事故・無災害

- ・施工計画を考慮し、KY活動のもと順調に作業が進行できた。
- ・各現場で月1回安全パトロールを実施し、事故・災害を防ぐことができた。
- ・工事現場近くの地元住民の土地を資材置場として賃貸し、整理整頓に役立てた。
- 地元住民とのコミュニケーションも取ることができた。

5) 建設騒音・振動の発生防止・地域の景観保存と苦情の削減・地域貢献

- ・工事着工前に周辺住民と十分に話し合い、騒音・振動の発生防止や景観保存等作業中の交通渋滞も緩和され、苦情が出ることもなかった。

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当事業所に適用される環境関連法規(廃棄物処理法 資源有効利用促進法 消防法 騒音規制法 振動規制法 オフロート法 建設リサイクル法 フロン排出抑制法)の遵守状況を確認した結果違反はなかった。
- また関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟等もなかった。引続き遵守していく。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の運用にあたり、自社・協力会社一体となり環境保全活動を継続して日常的に取り組んでいます。

今後とも環境負荷への意識を高め住みやすい環境作り、健康で安全な社会作りに貢献していきたいと思っています。

1) 評価

- ① 環境に配慮した現場では事故も災害もなく、近隣苦情住民による苦情もなく適切な施工管理ができた。
- ② 工事現場での増車によりガソリン使用量の削減ができなかった。
- ③ 大型工事の構造物撤去での産業廃棄物排出量が多かったので増加した。
- ④ よりよい環境作りのため、挨拶も礼儀正しくなり、健康維持にも気をつけている。

2) 見直し及び指示

- ① 全社員が活発的に働ける職場環境を継続する。
- ② エコドライブの推進を強化する。
- ③ 産業廃棄物の徹底して細かく分別を行うこと。
- ④ 現場では事故ゼロ災害ゼロ、近隣苦情住民による苦情ゼロを目指す。
- ⑤ 大きな声で挨拶して、健康に気を配り1日の作業に取りかかる。
- ⑥ 実施体制の変更はない。

二酸化炭素排出量の動向 2019～2024

		2019	2020	2021	2022	2023	2024
CO2排出量	kg-CO2	36,339	39,794	39,305	39,833	37,089	40,489
電気	kWh	19,748	21,907	18,466	21,356	17,858	19,506
ガソリン	L	6,669	5,784	6,573	6,633	6,005	7,254
軽油	L	4,708	5,602	5,598	5,485	5,777	5,464
灯油	L	612	1,524	1,109	952	654	660
産業廃棄物排出量	t	652	1,051	972	971	611	995
水使用量	m ³	709	439	478	466	484	476

